



にこにこ通信第192号

2011/3/20

〒933-0804 高岡市問屋町 40 (有) 沖商店

沖 昌弘

TEL 0766-25-2525(にっこりにこにこ)

E-mail

FAX 0766-26-5500(ふるへごーごー)

oki2525@oki-shouten.com

謹啓 毎度格別のご最頁に預り厚くお礼申し上げます。

本通信は、皆様のご意見を頂いて私の人生修行の糧といたしたたく、ひと月に一度お届けしています。どうぞ、忌憚の無いご意見をお寄せください。ようようお願い申し上げます。 謹白。

一 悪い奴ほど隠したがる

今月11日に発生した東日本大震災は日本に未曾有の大事を齎しました。直接被害もさることながら、原子力発電所の原子炉の破壊やら、水や食料・医薬品や毛布などの不足、さらに追い討ちを掛けるように季節外れの雪まで降って来て、災害と言うより「神の試練」だと思えます。日本国挙げてこの難事に当たらなければならぬと覚悟を新にしている次第です。

これより先、先月22日、ニュージーランド地震では、わが富山県からも大勢犠牲者が出ました。特にクライストチャーチ市の中心街にあった語学学校「キングス・エデュケーション」では日本人学生21名・引率教員2名がビルの崩壊で被災し、昨日(16日)5名の死亡が新に確認され、これで富山県人13名全員の死亡が判明した、と悲しい記事が、わが郷土の代表紙「北日本新聞」に掲載されていました。

犠牲者の身元の確認は遅々として進まず、虫歯の治療をした人とか身体的に特徴のある人が比較的に断定し易いと報道されていました。私は以前から本通信にも載せて主張していました。嫌がるのでしょうか。今回のように突然トラブルに巻き込まれることもあり、私には、人々が生まれながら出生届けに、手足の指紋、血液型、DNAなど本人独特な証拠を添付するようにしたら良いと思っています。これを「プライバシーの侵害」などと嫌うのは、自分を隠したいからで、暗く陰気な雰囲気です。情報が悪用されるというのも理由の一つですが、それは防止策を嚴重にすればよいのであって、万一の時、個人の証明が容易になるメリットと比べればそのリスクは小さいものです。それより自分が悪いことをした時、ばれないようにと思う人が自分を表に出したがるのであって、これこそ「悪性の潜在」と言うべきでしょう。

犯罪を抑えるためにも、全地球規模で、個人の証明を容易に出来る体制にするべきだと思います。

「富山方言番付」

東の前頭「ばやくちや」⇨形容詞

「わやわや」と「めちやくちや⇨滅茶苦茶」(両方とも乱雑な様)が一緒になって「わやくちや」、それが訛ったもの。

○ 足の踏ん場もないくらい「ばやくちや」になつとんね(なつてますね)。

○ 地震でどこもかも「ばやくちややちや」(ですて)。

○ どこから手着けりやいいが、分らんくらい「ばやくちややね」(ですね)。「ばやく」には「したくてしかたがない」と言う意味もある。

○ あんた、今度の旅行に行きたないがけ?。(行きたくないのですか)。

行きたて「ばやくやれど、暇ないがいちや」。(行きたくてしかたがないのですが、暇がないのですよ)。

○ あのホテルの料理食べたないがけ?。(食べたくないのですか)。

食べたて「ばやくやれど、金ないが、(食べたくてしかたがないのですが、お金がないのです)。

○ こんな天気いいがに(のに)、ゴルフに行かんがけ?。(行かないのですか)。

行きたて「ばやくやれど、仕事忙して。(行きたくてしかたがないのですが、仕事が忙しくて)。